

ヨコハマ市民まち普請事業

第2次整備提案書

※ 記入上の注意

- 2号様式はページを増やさず、必ず3ページ以内でまとめてください。
- 2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

1 整備提案の概要について

整備提案名	瀧乃川源流の湧！優！悠！防災井戸作り
提案グループ名	瀧乃川保存を考える会
整備場所の所在地 (町名又は丁目まで記入)	神奈川 区 片倉2 丁目
施設整備の概要	<p>片倉うさぎ山公園内にある「瀧乃川の源流」(湧水)を、浄化することにより、平時より地域住民の憩いの場として活用し、有事の際には、生活用水として活用できる事を目標とする。</p> <p>その水がある環境を仲介とした「人と人」の輪を広げ、「顔と顔」が見える地域のコミュニティを構築する。</p> <p>① 防災井戸を掘る(1基)</p> <p>② 池の整備(土止め・植樹・植栽・掘り起こしによるヘドロや草の根などの除去)</p>
整備助成金申請 予定額	60 万円
設計及び整備の スケジュール	<p>設計開始予定：平成25年4月～5月</p> <p>井戸および池への着工予定：平成25年5月～8月</p> <p>※上記 位置関係は、別添平面図に記す。</p>

2 創意工夫について

<p>計画について、特に工夫した点を記入してください。</p> <p>(住民等が持つ発想、方法などを生かしたアイデアやユニークさ及びデザインへの配慮)</p>	<p>① 既存の湧水を利用し、コミュニティの構築を行う。</p> <p>② かつての「瀧乃川」の風情を先輩諸氏からお聞きし、原風景を懐古し、回帰した計画とした。</p> <p>③ 平素の憩いの場が、有事の際に地域住民の防災拠点となる。</p> <p>④ コミュニティの中心に据えるべく池の水が「サビ」「油」などで汚れている事実の把握から発想し、井戸から池への水を流し込む事により水の浄化の一助とする構想。</p> <p>⑤ 公園の現状にマッチしたサイズ、色、形状などをセレクト。 ※水の汚れの現状などを把握したうえでの井戸などの位置の特定や池の清掃方法・掘り返しの深さなどの決定</p> <p>⑥ これらの活動を基盤にして「水資源の大切さ、有用さ、楽しさ」を肌で感じられる様に構想。</p>
<p>整備における地域での費用や労力の負担について、特に工夫した点を記入してください。</p> <p>※ 詳細について</p>	<p>① 地域住民の有志による、現場作業の実施のため、当組織を構築</p> <p>② 井戸の製作や池の整備に関して重機による掘削以外は 基本的に資材購入し自らの力で整備を行う。</p> <p>③ 公園に隣接する町内会(第一町内会)から活動資金として7万円の補助が予定されている。(今回の補助では充当できない部分</p>

<p>は、「想定整備費用内訳書（第3号様式）」に記入してください。</p>	<p>に活用) ④重機の作業は近隣の建設会社が実費負担のみで行ってくれる。 ⑤中丸小学校・神大寺小学校・六角橋中学校の生徒およびPTA組織と地域住民の支援を得ながら整備に取り組む</p>
<p>整備した施設の維持管理・運営^{注5)}計画及びその実施方法などについて、特に工夫した点を記入してください。 注5) 施設を活用したまちづくりイベント等を含む。</p>	<p>当組織で出来ることと、片倉うさぎ山公園愛護会にお願いすることを精査し、互いの協調関係にて維持管理・運営を行う。 【井戸】・公園管理者の指示により管理しますが、なるべく多くの人に触れられる様に構想。 ・井戸水は、池に引き込み水の美しさを取り戻す。 ・公園愛護会が利用できることとし、美化向上に利用。 【池】・当組織（約30人）が、サビ、油への対応、堆積物の除去、草花の手入れを行う。（月2回実施） (イベント) ・ホタルの生息する池を目指し、地域住民が憩えるイベントを開催する。（平成24年6月に第1回ホタルを愛でる会実施済） ・近隣小学校のビオトープなどとの交流 ・近隣の住民の有志による「虫の音を愛でる会」「合唱のゆうべ」「コンサート」などへの発展も視野に入れる。プレイパーク連携</p>

3 実現性について

<p>地域（地権者、整備場所の近隣住民、地域住民、自治会町内会等）での合意形成や関係機関との調整結果の概要について記入してください。</p>	<p>【神奈川区土木事業所公園係】 打ち合わせ・内容確認などは相談・協議中。（概ね理解を得ているが詳細に関しては引き続き調整を行う） 【近隣及び地域住民】 プレイパーク利用者に池と井戸の整備についてアンケートを実施中（総じて、好意的な意見が多い） 近隣住民への周知・説明は今後回覧を利用し行う予定。 【周辺4自治会】 説明済にて賛成を頂いている。（補助金を拠出いただいた自治会もある）</p>
--	--

4 公共性について

<p>地域のどのような課題やニーズに基づいて整備計画が作成されたのか、また整備した施設が地域にどのくらい貢献するか記入してください。 ※ 第1次整備提案書よりも具体的に記入してください。</p>	<p>ニーズの把握のために行ったアンケートによると「池に触れたい（入りたい）」「生物を通して生命の尊さを学ぶ」「ホタルは感動した」「防災意識の高まり」などが拾い上げる事ができました。そのニーズに応える貢献内容として以下の構想がある。 ①清流・湧水の復活 身近な公園に湧水を復活させ誰もが触れることのできる様にしていく。水を中心に子どもたちが集まり、親世代の交流が始まる事なども期待できる。 ②自然環境 ホタル等の虫や鳥などが集まる自然環境を復活していく事は、憩いの場をつくることとなり、多くの人の喜びにつながる。 ③防災 消防、手洗い、トイレなど災害時にも活用できる井戸水は安心安全につながる。</p>
--	---

5 費用対効果について

<p>整備コスト縮減について、特に工夫した点を記入してください。</p> <p>(材料の調達方法や施行業者への発注方法など)</p> <p>※ 整備に要する費用や労力の負担については、「2 創意工夫について」に記入してください。</p>	<ol style="list-style-type: none">① 「土木作業」「施工管理」に関する専門知識、施工技術を有する者（有資格者）が、当組織メンバーにいたので適切に実施できる。② 特殊機材、資材の購入ルートが、既存。 また、重機の使用の際には近隣の建設会社の協力により実費にて活動が可能。③ 「ポンプ」「土止め」「水質改善剤」などは購入するが、その他のものは手作りにて対応を予定。④ 掘り返した草などは干すなどの手を加え、処分費を縮減する。
--	--

6 地域まちづくりへの発展性について

<p>整備をきっかけとして、地域コミュニティが広がる又は深まる可能性、及び地域のまちづくり活動が活発化する可能性について記入してください。</p>	<ol style="list-style-type: none">① 現状では、その存在の認知度が低い滝乃川源流の「湧水」ではあるが、その環境が向上し活用の幅が広がることにより人の流れが構築可能。② 環境整備が行われ、水棲生物が居着き「蛍を愛でる会」などの継続的なイベントを行うことにより、新たな憩いの場所としてコミュニティが深まり、広がる。③ 水場を作る事にて、遊び場としても幅は広がる。④ 防災拠点として認知度があがれば、地域住民の関心は自ずと高まる。⑤ 既存の他団体（小学校や自治体）などとの関係強化のきっかけとなり「人と人」の輪を広げ「顔と顔」が見える地域のコミュニティ構築をめざす。
---	---

7 特にPRしたい点について

<p>提案について特にPRしたい点があれば、記入してください。</p>	<ol style="list-style-type: none">① プレイパーク事業及びうさぎちハウスでの活動が活発になり既存のそのつながりを活用すると同時に「水」という新たな視点での活動に大きな希望を抱いている点② 生きるうえでの重要な「水」にかかわる事業である点③ 原風景への回帰とともに、将来を担う住民への貢献度④ 「蛍」の住める環境を構築するという具体的な目標がある点⑤ 「作業」に関してや「蛍」に関しての有知識者がいる点
-------------------------------------	---

記載内容について次の点を確認後、チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報はありません。

ヨコハマ市民まち普請事業

想定整備費用内訳書

※ 記入上の注意

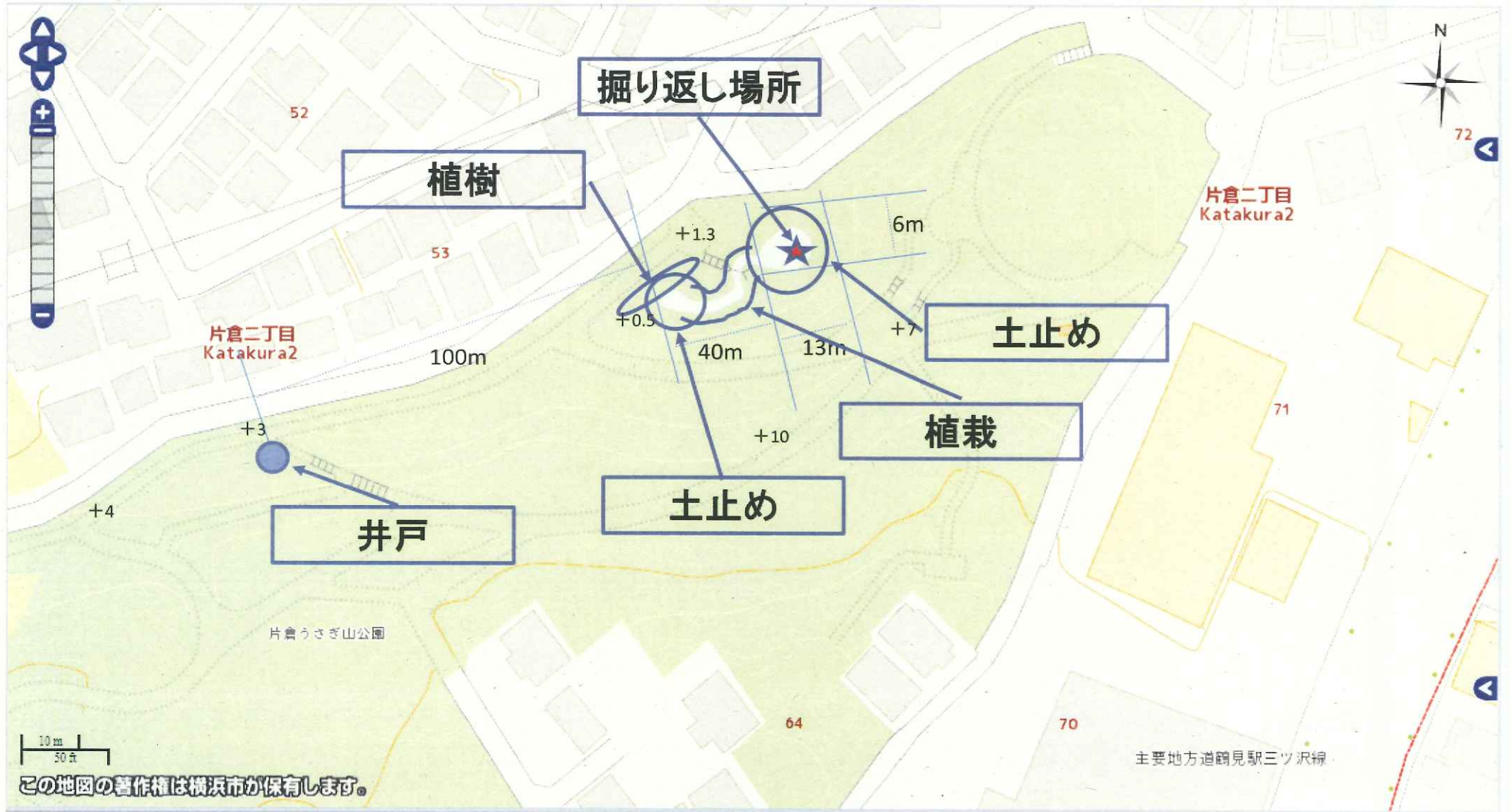
- 「主な整備項目」「細目」欄の記入にあたっては、事務局と事前に十分調整してください。
- 「数量」欄については、やむを得ない場合を除き、「一式」と記入しないでください。
- 「地域住民等の参加」欄については、例えば地域が労力を負担する場合は、何人くらいが何日間くらい作業を行うかなど、できるかぎり具体的に記入してください。（見込みも含めて記入してください。）また、小中学校や子供会などが参加する場合は、その旨を明記してください。

主な整備項目	細目	数量	単価	計	地域住民等の参加 (費用又は労力の負担等)
池の環境整備 ユンボ－工事	重機による掘削	2回	2.5万円	5万円	1人*2日
〃 2tダンプ		2回	2.5万円	5万円	1人*2日
残土場内処理	ひな壇用土止材	30m	0.3万円/m	9万円	10人*2日
砂利		5m ³	1万円/m ³	5万円	
ゼオライト		10袋	0.21万円/袋	2.1万円	
砂		3m ³	1万円/m ³	3万円	
土嚢袋	米袋	50袋	180円/袋	0.9万円	
重機回送費		2回	2万円/回	4万円	1人*2日
スコップ等器具・植栽費用	竹箒・植栽など	1式	1万円	1万円	
井戸掘り工事 150パイパイプ	穴あき用 4m	3本	1.5万円/本	4.5万円	
同上 ジョイント		5箇所	0.5万円	2.5万円	
50パイパイプ	穴あき用 4m	3本	0.5万円/本	1.5万円	
同上 ジョイント		5箇所	0.2万円	1万円	
手掘り器		1セット	5万円	5万円	
コンクリート打設		1式	1.5万円	1.5万円	
手掘り器養生材	木材で囲う	1式	4万円	4万円	
水回り植栽	肥料込	10本	0.4万円/本	4万円	
水測定器		1セット	1万円	1万円	
合 計				60万円	

位置図



平面図



位置図(井戸設置説明図)



【井戸】を設置場所特定理由

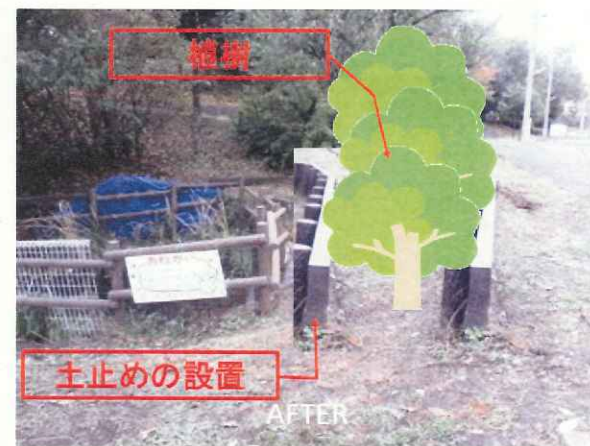
- ① 既存の防災倉庫の脇に位置し災害時の活用を想定
- ② 現在、池に流入している赤サビの原因と思われるものが埋没しているであろうと思われる位置よりも上流に位置する。
- ③ プレイパークで行われている水遊びの場所に比較的近い位置であるため、利用が可能

完成予想図-1



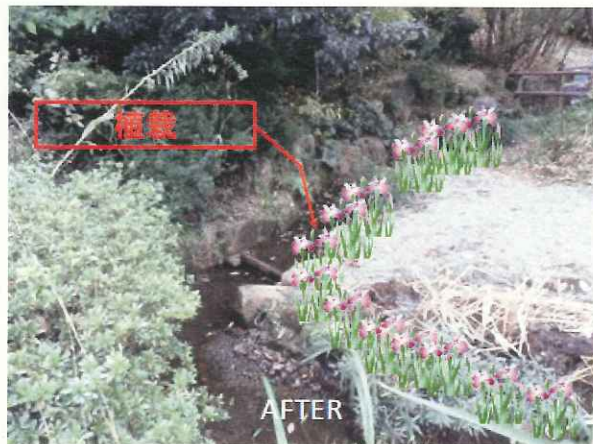
公園内に「井戸」を掘り設置する。

完成予想図-2



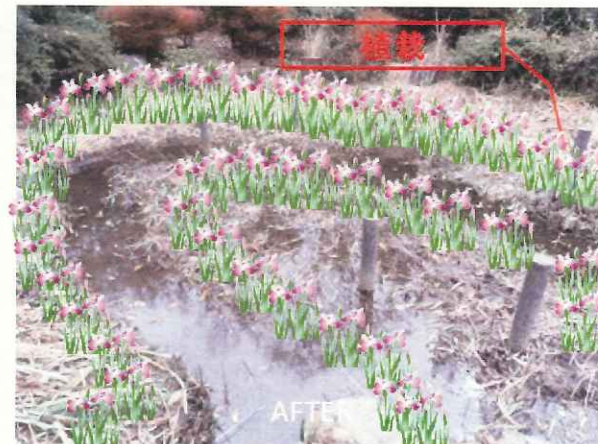
上の池の脇を重機で掘り、赤さびなどの原因を排除し、土止めを行い、新たな土砂の流入を防ぎ、植樹により継続的に地面を固め、赤さびなどの流入を防ぐ。

完成予想図-3



流路を人力で掘り土砂の流入を防ぐ土止めを行い、流れに沿って植栽を行う、この際の植栽は「土止め」と「蛍の生育環境を整える」という二つの意味を持つ。画像では片側だけの植栽イメージとなっているが、流路の両側を計画。

完成予想図-4



下の池を重機で掘りヘドロと池の中に生える草の根を除去し、土砂の流入を防ぐ土止めを行い、流れに沿って植栽を行う、この際の植栽は「土止め」と「蛍の生育環境を整える」という二つの意味を持つ。